

方針	市の重点	学校の教育目標	市の重点と関連	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点	
郷土高山に根ざし、未来を切り開くための資質・能力を育む	②① なり主体的・対話的 たい自分に向かい深い 仲間とともに挑戦できる 生活をつくる	やさしく かしく たくましく 磨き・鍛え 活かす	「か しこさ」 を磨き、 鍛える	① 主体的・対話的な学び合いができる授業	全ての複式授業において、学習リーダーが進める授業を実践する。	A	◎学習リーダーが授業を進めることが定着している。 ◎電子黒板、デジタル教科書が導入され、授業で活用することができた。 ◎家庭学習への取り組みについて、保護者と連携しながら指導することができた。	
				個に応じたノート指導	考えを広げ、深め、まとめるために、書ききらせる指導と見届けを徹底する。	A		
				① 広がり・深まりのある仲間学び	今月の目標の「話す」「聞く」姿を全員が達成する。	A		
				① 「分かった・できた」が実感できる授業	授業のまとめ、感想、評価問題の考え方など、自分の言葉で書く。	B		△授業の振り返りを書く時間をもっととり、「書くのが当たり前」という授業の流れを目指したい。
				学びの土台となる基礎学力の定着	朝学習の補習を必ず行い、その日のうちに正答率を100%にする。	A		
				授業改善・学習指導の改善	ICTや情報機器を活用した授業を、週1回以上行う。	A		
				保護者と連携した家庭学習	各クラスで同一の家庭学習の取り組みを行い、毎週必ずその評価をする。	A		
			「やさ しさ」 を磨き、 活かす	② 一人一人が大切にされる学級経営	自己評価項目「喜んで学校に通っている」を100%にする。	A	◎「学校が楽しい」と、喜んで学校に通っている児童が100%であった。 ◎相手に伝わる挨拶を目指して児童会を中心に取り組み、挨拶が向上してきた。  △コロナ禍のため道路などの清掃やゴミ拾いができなかった。次年度には方法や活動時間など改善して行いたい。	
				明るいあいさつ	「自分から」「地域の方にも」全員があいさつができるようにする。	B		
				② 思いやりや感謝の心で助け合える	かがやき(よいとこ見つけ)を増やし、かがやきの木をいっぱいにする。	A		
				道徳教育人権教育の充実	教室背面の掲示物として道徳や人権について、学習の足跡を残す。	B		
				福祉交流	地域の高齢者の方を行事に招待する。	B		
				奉仕体験活動	年2回は地域の施設や道路などの清掃やゴミ拾いなどを行う。	C		
			「たく ましさ」 を磨き、 鍛える	健康な体づくり	月1回の歯の染め出しを実施し、自分の歯並びにあった磨き方を身につける。	A	◎教え教えられるという、い学年ペアでのそうじ活動が充実し、時間いっぱい丁寧な清掃活動が行えた。 ◎様々な場面を想定した命を守る訓練を行い、万が一の場面では自ら考えて行動する大切さを養えた。 ◎合唱は、子どもたちにも誇りを持たせ、歌わせることができた。また、歌が好きだという子供が増えた。	
				② 役割に生きる	そうじ名人に全員が選ばれる。	A		
				がんばればできる心	「あそび名人」の3級2級1級をめざして、粘り強く取り組む。	A		
				自他の生命と安全を守る	命を守る訓練を年10回実施し、自分の命は自分で守る力をつける。	A		
				学校の財産づくり	合唱を学校の自慢とし、児童が創り上げる合唱にする。	A		
			郷土 教育 特色	ふるさと岩滝の自慢、再発見	棚田での活動を全校活動とし、年2回以上は行う。	A	◎地域の方が学校教育への配慮をして下さったおかげで、棚田から始まり、授業参観・土曜授業・運動会・わくわく発表会をコロナの対応をとりながら、無事に進められた。これも、地域からの支援に感謝を申し上げたい。	
				地域の行事を知り、積極的に参加する	わくわく発表会・校舎移転40周年等の行事を通して、お年寄りとの交流をさらに深める。	B		

学校運営協議会における主な評価内容

◎児童全員が学校に通うのが楽しいと言っているのがありがたい。親も同様の意識(喜んで学校に通っている)でいるのが嬉しい。先生方にも手厚く見てもらっていると思う。  
△地域みんなで集まれるような活動、垣根のない活動を行いたい。